

阿波市全庁評価シート 令和5年度実施事業対象

PLAN	No.	4	1	基本事務事業名	行財政改革推進事務	事務事業名	行財政改革推進プラン推進事務	公的関与	2	シート作成日	令和6年6月3日		
	部局名	企画総務部		課名	財政課	主務課長名	藤井 信良	シート作成者名	佐々木 大祐				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共につくる阿波		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 計画的な行財政運営の推進		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		令和	年	～	令和	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
	主要施策		(1) 効率的な行政運営の推進		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市の行政組織と行政事務事業										
		目的(どういふ状態にしたいのか)	最終的	将来にわたって持続可能に発展し続ける市政を実現するため、総合計画や各種計画との整合性を保ちながら、時代の変化に対応した行財政システムの構築を図り、財政健全化と充実した行政サービスの向上を目指します。									
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
① 取組項目の計画的な推進のため、関係各課での積極的な取組への要請と進捗状況の把握を行います。													
② 行財政改革推進本部会議を開催し、プラン推進について全庁的な検討協議を行います。													
③ 行財政改革推進委員会を開催し、取り組みに対する意見・助言を受けるとともに、進捗状況の報告を行います。													
④													
⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	最終目標					
	事業の実施回数や市税の収納率等	令和2年度以降、全体での指標は設定していない。		目標									
				実績									
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	3	財産管理費
	直接事業費			令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度予算		備考					
		国庫支出金		千円	千円	千円							
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		千円	千円	千円							
		一般財源		81 千円	93 千円	千円							
	計(A)		81 千円	93 千円	0 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.025 人	151 千円	0.025 人	151 千円	人	0 千円					
		会計年度任用職員職種											
会計年度任用職員工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		232 千円		244 千円		0 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	安定した行財政基盤の確立及び今後における新たな行財政課題に対応するため、委員会の意見・助言等のもと、市民の視点に立った計画内容の見直しを推進していく必要があります。	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	少ない	大きい	安定した行財政基盤の確立及び今後における新たな行財政課題に対応するため、委員会の意見・助言等のもと、市民の視点に立った計画内容の見直しを推進していく必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	少ない	大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ない	ある		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	ない	ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	いる	いない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いる	いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	いえない	いえる	項目別の数値目標や達成状況を公表することにより、職員一人ひとりの意識改革を図ることができ、市民の視点に立った市政を推進することができます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	いえない	いえる		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	いえない	いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	する	しない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	する	しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	できない	できる		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	できない	できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	項目別の目標28項目に対して16項目で目標を達成しましたが、全ての目標を達成するため、更に積極的に推進していきます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	あまり上がっていない	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	概ね達成している	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	十分達成している	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	高い	適当	事務の実施に当たり、経費をかせずに進捗状況をとらめ、進捗状況をとりまとめる際の効率化を図るため、事務の見直しも検討する必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	高い	適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	できる	できない		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	できる	できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ある	ない		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	ある	ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	3	4	3	3	A	3	4	3	3	A		
		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等				
	当面の課題	市税等の収納率向上及び未利用財産の売り払い等による自主財源の確保や民間活力導入後の経費削減状況を検証する必要があります。今後は、財政収支見通しを分析したうえで、持続可能な行財政運営のために、必要となる具体的な施策を検討していくことが課題となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	行財政改革推進委員会の意見・助言等を踏まえながら、取り組み状況の検証を行い、施策実施に反映させていくことで、市民主体の市政の推進を図ります。					第1次～2次の集中改革プランにおいては、人件費削減を中心とした大きな財政効果が見られましたが、近年の第3次集中改革プラン期間中ではその効果額が減少してきました。今後については、「行財政改革推進プラン」のもと、今まで以上に行政の「質」の向上を図りながら、効率的な行財政システムの構築を図り、経費削減に努めます。						
委員会指摘事項													